

# 住みやすさ日本一へ 大久保市政本格始動

今年度予算は、「住みやすさ日本一」の実現を目指して、1,307億9,000万円を計上しました。大久保勉市長が編成した初めての予算。その背景や込めた思いを市長が語ります。

(財政課 (☎ 0942・30・9117、FAX 0942・30・9703))



1月に市長選挙が行われたため、暫定的に3ヵ月分の費用を計上していた平成30年度予算。大久保市長の下、通年予算を編成し、6月議会で可決されました。予算に込めた思いを聞きました。

規模事業の完了で、前年より3・8%減少しました。この予算を編成した背景や、予算に込めた思いを聞きました。

## 住みやすいまちを実現

### 情勢を察知して即対応

人口減少・超高齢社会の進行は、全国的な課題です。久留米市も、25年から4年連続で増加していた人口が減少に転じました。こうした状況から生じる課題に対し、迅速かつ的確に対応しなければなりません。

久留米市の住みやすさを高め、前面に打ち出すことで、久留米を訪れる人や移住する人を増やします。さらに、弱い立場にある人も含め全ての市民が「元気に明るく暮らせる」「夢と希望を実現する」生活空間を

つくりたいと思っています。それが、「住みやすさ日本一」の実現につながると考えています。

### 暮らしの安心を提供

今後、三つの柱でまちづくりを進めます。

一つ目は「暮らし・教育（おもいやりと育み）」です。全市民の健康で安心な暮らしを支える施策に力を入れます。

二つ目の柱は「安心・快適・都市力（やすらぎと発展）」です。県南の中核都市としての求心力を高めるとともに、福岡に通勤できるまちとしての魅力も向上。特徴ある資源を生かし、生活の場として選ばれます。

30万都市にふさわしい姿

この他、教育・福祉施策の充実、人権尊重と男女共同参画の社会づくりも進めています。



待機児童の解消や子育て支援を進め、希望がかなう暮らしやすいまちを目指します

## 選択と集中

### スピード感を持つて

そのため、今年度は「都市づくり構想の検討」に着手します。将来に向けて誰もが暮らしやすく、さらには発展し続けるまちを実現するため、現在の都市計画を、人口30万都市にふさわしい都市づくり計画にするための検討を行います。

### プラザの生かし方を議論

三つの視点は「地方創生、経済成長・雇用（魅力と活力）」です。

豊かな自然や高度な医療などを生かすとともに、農・工芸、観光に付加価値を付け、久留米ブランドとして発信。人や企業を呼び込み、地域経済・産業の活性化につなげます。また、文化芸術の振興も継続します。

今年度の取り組みの大きな目玉の一つに、「久留米シティープラザ運営委員会の設置」が挙げられます。3年目を迎えるシティープラザを、安定的・持続的に運営していくには収支の改善が大切。加えて、市民の皆さん満足度を高めるために施設をどう活用していくか。経営的視点と文化芸術

## 選択と集中

### スピード感を持つて

#### 事業を「選択と集中」

30年度予算は、「直面した課題に早期に対応」―長期的な視点で社会の流れや将来を見据える「地域経済の活性化と好循環につながる投資・施策展開」を視点に編成。しかし、限られた財源でこれを実現するには、「事業の選択と集中」

セансの両面からの議論をしてもらえるよう、有識者を入れた運営委員会を設置します。

#### 事業を「選択と集中」

30年度予算は、「直面した課題に早期に対応」―長期的な視点で社会の流れや将来を見据える「地域経済の活性化と好循環につながる投資・施策展開」を視点に編成。しかし、限られた財源でこれを実現するには、「事業の選択と集中」

が不可欠でした。

そのため、「高齢者の運転免許自主返納支援事業」を廃止し、高齢者の移動を支援する「ミニユーティックシード制度」を拡充しました。また、「敬老祝い金」制度など、いくつかの事業で見直しを行いました。

#### 新プロジェクトを設置

将来見込まれる大きな課題に対応するため、「西鉄久留米駅東口周辺の再開発」に向けた検討「都市づくり検討」「久留米シティープラザ検討」の三つのプロジェクトチームを立ち上げました。なお、シティープラザ検討チームは、運営委員会に移行します。

今後は、さまざまな施策に民間のノウハウを取り入れます。より柔軟な発想を生かして、規制の見直しや新たなまちづくりを開拓します。

シティープラザや中心市街地に多くの人が集まる「くるめたまがる大道芸」

が、さまざまな施策に民間のノウハウを取り入れます。より柔軟な発想を生かして、規制の見直しや新たなまちづくりを開拓します。

今後は、さまざまなもので、さまざまな施策に民間のノウハウを取り入れます。より柔軟な発想を生かして、規制の見直しや新たなまちづくりを開拓します。

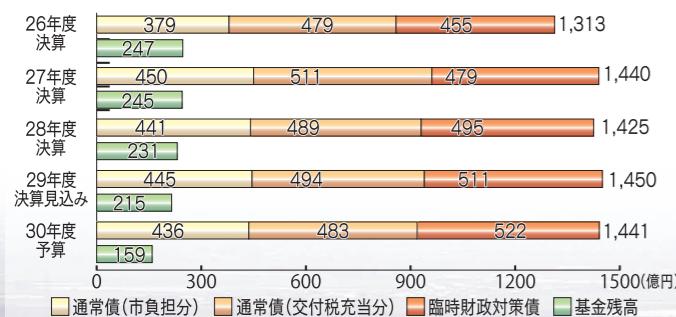
# 今、やるべきことを

## 主な新規事業と概要を紹介

◇ 教育ICT活用事業 884万円	(2) 健康でいきがいがもてる まちづくり 在宅の認知症高齢者向けの個人賠償責任保険加入やドクターカーの運行、集団検診の充実、生活困窮者や障害者の相談支援体制の充実、子どもや若者の自殺予防などに取り組みます。
◇ 送迎保育ステーション事業 134万円	(1) こどもの笑顔があふれる まちづくり 認定こども園の整備や保育士の確保などで、待機児童の減少を狙います。また、学童保育所の充実や、こども子育てサポートセンターの運営、子どもの貧困対策も進めます。
◇ 自転車利用促進事業 5555万円	外國語指導助手の配置充実やタブレット導入などで学力向上を目指します。学校施設の計画的整備と長寿寿命化にも取り組みます。
◇ 小規模農業用施設整備事業 5400万円	新エネルギーシステムの導入促進や環境学習・啓発などを行います。
◇ 都市開発・地域開発のまちづくり 2262万円	(2) 安心・快適・都市力 やすらぎと発展 まちづくり 幹線道路の渋滞対策や新規路線の検討、リバーサイドパーク宮ノ陣など都市基幹公園の整備を進めます。また、放置自転車対策の強化や駐輪設備の改善、老朽化した市営住宅の建て替えの他、農道・用排水路の
◇ 地域交通対策事業費補助 (ミニユニティタクシー) 1394万円	(1) 快適な都市生活を支える まちづくり 久留米駅前再開発支援、西鉄久留米駅東口周辺の再整備に向けた検討、高齢者などの生活支援交通の拡充、空き家の有効活用などに取り組みます。
◇ 公共施設等保全基金設置 5億円	(3) 地方創生、経済成長・雇用(魅力と活力) まちづくり 中核都市にふさわしい都市づくり構想の検討やJR久留米駅前の再開発支援、西鉄久留米駅東口周辺の再整備に向けた検討、高齢者などの生活支援交通の拡充、空き家の有効活用などに取り組みます。
◇ ふるさと・久留米応援事業 12億547万円	(1) 地域経済を支える まちづくり (仮称)久留米・うきは工業用地の整備と企業誘致、次期産業用地の検討、バイオを核とした新産業創出・集積に取り組みます。また、農産物のブランド化で販売力を強化します。
◇ e市役所環境構築事業 7145万円	(2) 文化・芸術・スポーツとの連携 まちづくり シティプラザや市美術館を活用した上質な文化芸術の提供や、久留米アリーナを使ったMICE※誘致などで交流人口を増やし、にぎわいを生み出します。地域おこし協力隊の活用やインバウンド※の推進、首都圏や福岡都市圏をターゲットにした移住・定住促進にも取り組みます。
◇ インバウンド推進事業 2004万円	(3) 安全・安心なまちづくり セーフコミュニティの再認証取得や、地域組織・市民活動団体の活動支援、地域と連携した避難所設置運営、農業用ため池改修での防災対策の強化などで、安全安心なまちづくりを推進。
◇ 新産業団地整備事業 13万円	※ MICE…多くの集客・交流が見込まれる国際会議やスポーツイベント、展示会などのこと ※インバウンド…外国人が旅行で日本に訪れること

今年度中に分譲を始める  
(仮称)久留米・うきは工業用地

## 基金と市債の残高状況

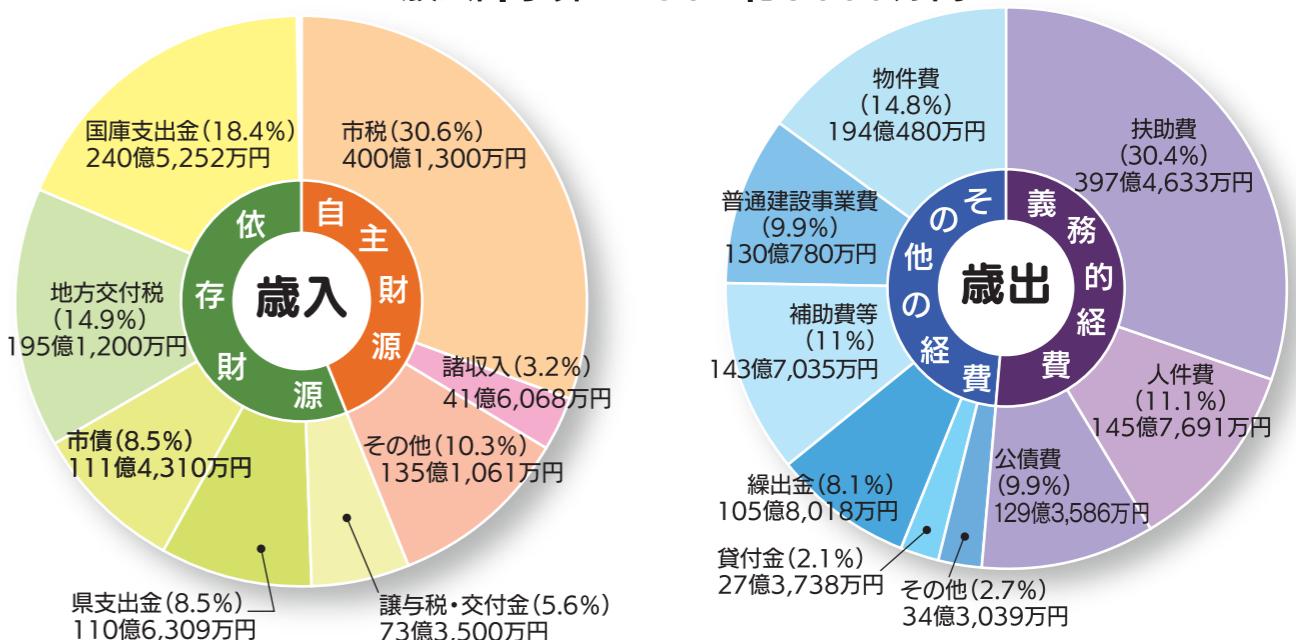


市の財政を家計に置き換えると、基金は「貯金」、市債は「借金」で、臨時財政対策債と通常債からなります。臨時財政対策債は、地方交付税の代わりに借り入れができるお金で、返済費用は、次年度以降に国から交付されます。市が実質的に負担するのは、市債総額から臨時財政対策債と通常債の交付税充当分を除いた額。30年度は約436億円を見込んでいます。積極的な予算編成の一方で、健全な財政運営に努めています。

- 1 著うし・教育 (おもしりと育み)**  
 (1) こどもの笑顔があふれる  
まちづくり  
認定こども園の整備や保育士の確保などで、待機児童の減少を狙います。また、学童保育所の充実や、こども子育てサポートセンターの運営、子どもの貧困対策も進めます。
- 2 生活困窮者自立支援事業**  
 (2) 健康でいきがいがもてる  
まちづくり  
在宅の認知症高齢者向けの個人賠償責任保険加入やドクターカーの運行、集団検診の充実、生活困窮者や障害者の相談支援体制の充実、子どもや若者の自殺予防などに取り組みます。
- 3 人権の尊重・男女共同参画のまちづくり**  
 (3) 人権・同和問題啓発・教育関連事業  
 ◇ 認知症高齢者等支援事業  
 ◇ 生活困窮者自立支援事業  
 ◇ 人権・同和問題啓発・教育関連事業  
 ◇ 女性活躍促進事業

- 1 快適な都市生活を支える  
まちづくり**  
 (1) 快適な都市生活を支える  
まちづくり  
幹線道路の渋滞対策や新規路線の検討、リバーサイドパーク宮ノ陣など都市基幹公園の整備を進めます。また、放置自転車対策の強化や駐輪設備の改善、老朽化した市営住宅の建て替えの他、農道・用排水路の
- 2 安心・快適・都市力  
やすらぎと発展**  
 (2) 安心・快適・都市力  
やすらぎと発展  
まちづくり  
幹線道路の渋滞対策や新規路線の検討、リバーサイドパーク宮ノ陣など都市基幹公園の整備を進めます。また、放置自転車対策の強化や駐輪設備の改善、老朽化した市営住宅の建て替えの他、農道・用排水路の
- 3 その他の経費**  
 ◇ 物件費  
 ◇ 扶助費  
 ◇ 普通建設事業費  
 ◇ 補助費等  
 ◇ 緑出金  
 ◇ 貸付金  
 ◇ 公債費  
 ◇ 人件費  
 ◇ その他

## 一般会計予算 1307億9000万円



- ◎自主財源=市が自主的に調達することができる収入  
 【市税】市民税、固定資産税、軽自動車税など  
 【諸収入】貸付金の元利収入や収益事業からの収入など  
 【その他】使用料・手数料、分担金・負担金、繰入金など
- ◎依存財源=国や県から交付または割り当てる収入  
 【国庫・県支出金】建設事業や生活保護などへの国・県からの収入  
 【地方交付税】所得税などの国税の一部が交付される収入  
 【市債】一度に大きな費用が必要となる事業を実施するための長期的な借入金  
 【譲与税・交付金】自動車重量譲与税・地方消費税交付金など

- ◎義務的経費=支出が義務付けられ、任意に節減することが困難な経費  
 【扶助費】医療費の援助や生活保護費、障害のある人への手当など  
 【人件費】職員の給与など  
 【公債費】市債の返済(元金・利子)  
 ◎その他の経費  
 【物件費】備品の購入や印刷費、光熱水費など  
 【普通建設事業費】道路や学校などの建設費  
 【補助費等】関連団体や各種団体への負担金や補助金など  
 【緑出金】特別会計や公営企業会計に支出する経費  
 【貸付金】中小企業への貸し付けなど  
 【その他】維持補修費、積立金、投資・出資金など